



姉妹都市提携を結び、固い握手を交わす中村市長とブライアント町長（左）、寺町の能登川やわらぎホール（右）

同町出身者

能登川町と姉妹都市提携を結んでいたカナダ・アルバータ州テーバー

江市と末永い友好を誓い合う調印式が五日、能登川地区のやわらぎホールで行われた。

テーバー

町とほ、旧能登川町からカナダに移住した町民が多いことを縁に、

イー同町警察署長ら四人の使節団員が来日し、市の施設や観光地を見学。永源寺での座禅体験や、花館でのBDF作りも体験し、東近江市の歴史

文化、環境のまちづくりを視察した。

調印式では、使節団員の紹介と調印までの経過説明が行われ、出席したホストファミリーや使節団受入実行委員会の約九

十人が見守るなか、中村功一市長とレイ・ブライアント町長が提携書に調印。恒久的な友好関係を進めながら、双方の繁栄、幸福を築こうと、東近江市から市旗と梵鐘、テーバー町から町旗とサークル・オブ・フレンズの記念品交換が行われた。

サーカル・オブ・フレンズとは、円形に囲んだガラス細工の中央にキャンドルを据えた飾りで、キャンドルに照らされて

輝く様子から「友情の輪」が広がることを願つて作られたもの。

ブライアント町長は「お互いに力を合わせ、末永く文化交流ができる」と強めに語った。

末永い友好を——姉妹都市提携

テーバー町と東近江市が調印

イをしながら、市内の町並みや教育施設等を見学し、十日に帰国する。

や文化、環境のまちづくりを視察した。

これを受けて、中村市長も「これまでの交流の歴史を大切にしないといい」と話した。

このあと、使節団受入実行委員会主催の歓迎会が開かれ、寿司や和太鼓演奏などの日本文化を堪能。写真を撮ったりと楽しむひとときを過ごした。

使節団員はホームステ